

大阪産業技術研究所 森之宮センター

## 3、4 階ファンコイルユニット更新工事

### 仕様書

地方独立行政法人大阪産業技術研究所

## 第1章 概要

### 1. 建物概要及び工事概要

#### (1) 建物概要

- ① 建物名称 大阪産業技術研究所 森之宮センター
- ② 所在地 大阪市城東区森之宮1丁目6番50号
- ③ 竣工年月 1981年

#### (2) 工事概要

本工事は、大阪産業技術研究所森之宮センター（以下「研究所」という。）3、4階一部のファンコイルユニット計27台を更新するもので、既設機器の撤去、新設機器の据付、配管工事、電気工事ならび付帯工事の一切を行うものである。

- ① 工事名称 3、4階ファンコイルユニット更新工事
- ② 発注者 地方独立行政法人 大阪産業技術研究所
- ③ 工期 契約締結日～2026年3月31日

※土日祝及び可能な平日（9時～17時）

- ④ 工事主要項目（見積作成時にも下記構成に準ずる）

天吊り型ファンコイルユニット更新

・ 機器（ファンコイルユニット）	27台	
・ 機器据付工事（各バルブ、スイッチ19個、サーモ18個を含む）		一式
・ 機器電気工事（電動二方弁等必要な部品）	一式	
・ 撤去処分	一式	

### (3) 一般仕様

本工事業務は、本仕様書に基づくほか、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和４年版（以下「標準仕様書」という）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事）令和４年版（以下「改修標準仕様書」という）国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和４年版（以下「標準図」という）による。

### (4) 特記仕様

#### ①工事实績情報

- ・請負金額 500 万円以上のものは工事实績情報登録を行うこと。

#### ②施工条件

- ・既存の配管をそのまま流用するため、配管を延長し本体を約 300mm 程度前方に設置すること。
- ・401 室は既存の配管を分岐し、600 サイズ 1 台から 2 台に増設すること。
- ・施設を使用しながらの工事となるため研究所監督者と施工の順序、工程表について綿密に調整を行うこと。
- ・冷温水（往、還）配管のボールバルブは契約締結後、中間期の間（１０月初旬～１１月中旬頃）に取付けること。（水抜き及び水張り作業は発注者で行う）
- ・配管の保温外装は合成樹脂製カバー、保温化粧ケース等とする。
- ・仕様書に記載されていない作業、項目等が発生した場合でも機能上必要と思われるものは、受注者の責任において処理すること。

### ③機材の品質等

- ・機器類の能力及び容量等は既設機器の数値と同等及びそれ以上とする。
- ・製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
- ・法令等で定める許可、認可、認定を取得していること。
- ・安定的な供給が可能であること。
- ・生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
- ・品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
- ・完了後はメンテナンスのためのデータ及び操作方法等を提供すること。

## 第 2 章 一般事項

### 1. 基本原則

本工事は、工事請負契約書、本仕様書、図面、標準仕様書、改修標準仕様書、標準図に基づき、研究所監督者の指示に従って完全に施工し、引渡さなければならない。

本仕様書及び図書は設計基準を示すものであるので、施工にあつては十分検討を行って施工図を作成し、研究所監督者の承諾を受けたのち製作及び施工すること。

### 2. 工程管理

工程管理は、研究所の運営に十分配慮して工程計画を立て、業務に支障をきたすことなく現場施工にあたること。

### 3. 完成図書の作成

工程表、工事打合わせ簿、工事写真、試験成績書、機器取扱説明書等書類一切を製本し、完成図書として提出すること。

(1) 提出部数        2 部

(2) 用紙            A3 及び A4

(3) 図面の CAD 化    本工事により作図した場合は CAD 化し、jww 形式にて提出すること。

(4) その他研究所監督者が指示する書類

### 4. 安全管理

請負者は、常に安全を第一に考え、関係法規を遵守し余裕をもった施工計画を作成し充分な安全管理を行うこと。

## 5. 現場発生品処理

請負者は、本工事の施工により発生する現場発生品（撤去品）処理にかかる諸手続き等、関連法規を遵守し受注者の責務において適切に処理すること。

## 6. 暴力団排除について

請負者は、契約の履行にあたっては暴力団関係者等から不当な要求を受けた場合は、警察へ届出及び研究所への報告（以下「届出等」という。）をしなければならない。

また、契約者は下請業者が暴力団関係者等から不当な要求を受けた場合は、届出等を当該下請業者に指導しなければならない。届出等がない場合は参加停止をすることがある。

### 第 3 章 空調機（ファンコイルユニット）

#### 1. 更新機器概要

（1）本件で設置するファンコイルユニットの概要は下記のとおりとする。

##### 【3 階】

サイズ	メイン（単独）	連動	計
600	6	4	10
800	3	3	6
計	9	7	16 台

##### 【4 階】

サイズ	メイン（単独）	連動	計
600	5	2	7
800	3	1	4
計	8	3	11 台

本体にはそれぞれ以下の部品を有すること。

- ①フィルター 2 枚（予備 1 枚を含む）
- ②操作スイッチ（連動機を除く）
- ③電動 2 方弁 20A×2 個
- ④ボール弁 20A×2 個
- ⑤ドレンホース 軟質ビニール
- ⑥ゲートバルブ 32A×2 個
- ⑦フレキシブルチューブ 20A×2 本

## 2. 既設ファンコイル概要

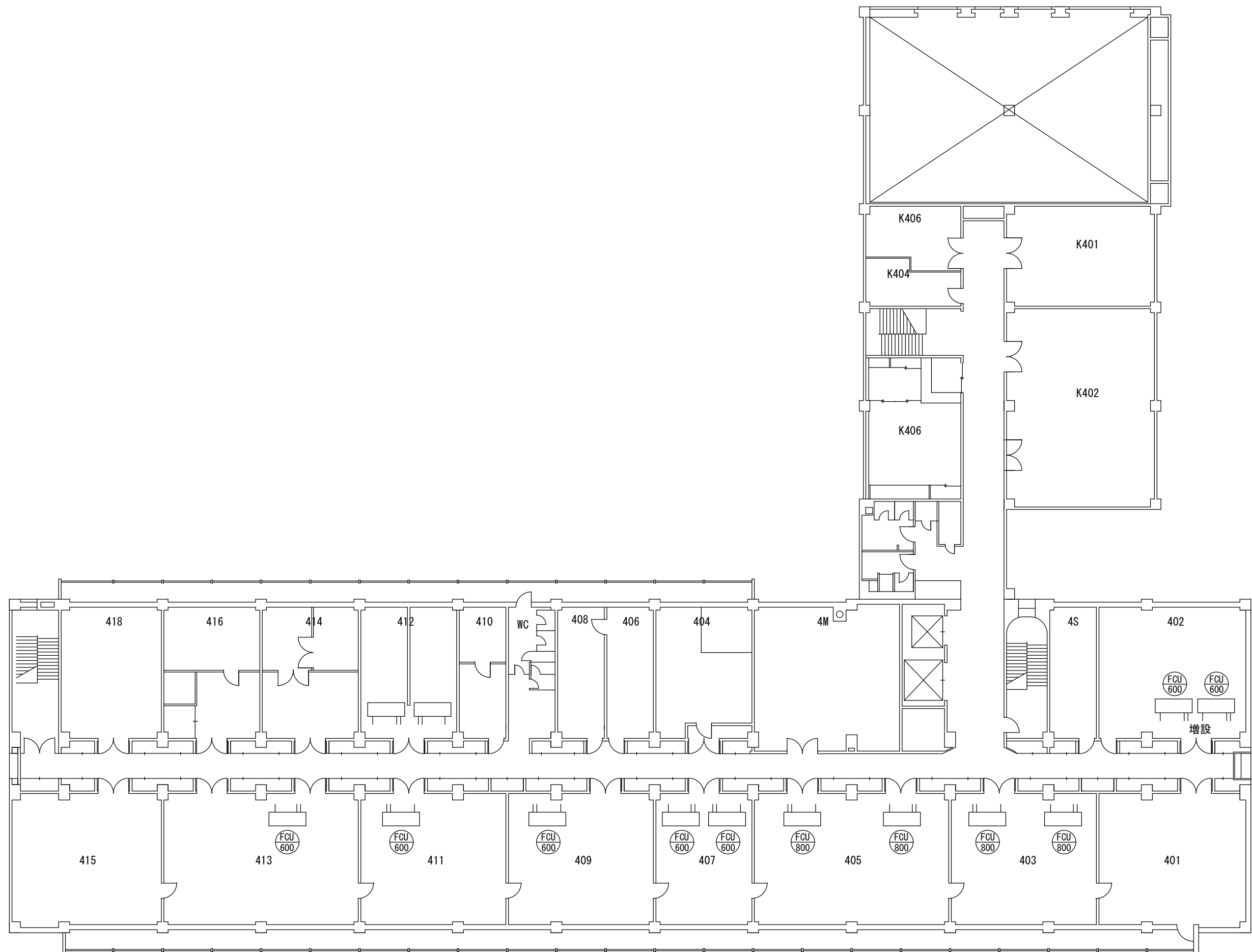
- (1) 天井吊露出型
- (2) 三菱ヨーク(株) FC-600-CE、FC-800-CE
- (3) 電源 100V
- (4) 吹出口 風向調整グリル
- (5) 操作スイッチ 3 段階
- (6) 冷温水配管（往、還） PT3/4（メネジ）
- (7) ドレン配管 PT3/4（オネジ）
- (8) FC-600-CE （冷房能力 5.0kW、暖房能力 5.7kW）
- (9) FC-800-CE （冷房能力 6.8kW、暖房能力 7.6kW）

## 3. 留意事項

- (1) 契約締結後ファンコイル本体納入までに各機器の冷温水（往、還）配管へバルブを取付け、本体が入荷次第順次更新を行うこと。
- (2) 予備フィルターを各台数分用意すること。
- (3) 更新機種は上記と同等品もしくはそれ以上の能力を有するもの  
  
※「同等品」とは性能、高さ・幅・奥行き等も同程度であること（既設機器の現設置場所付近に設置できること）
- (4) 本仕様書に疑問が生じた場合は、両者協議のうえ定めるものとする。







訂 正				工 事 名	図 面 名 称	縮 尺	確 認	確 認	作図者	作 成 日	最 新 更 新 日
				大阪産業技術研究所 森之宮センター	4階FCU更新箇所	1:200				2025. 04. 17	

